

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	商工観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光事業振興経費	事業番号	134	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食などの多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客・根室市観光協会
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	所管施設の維持・管理、観光客受入体制の強化及び関連団体への補助金等交付 ・観光地トイレ維持管理、観光地用地借上、その他施設修繕ほか ・観光協会補助金、港まつり負担金、盆踊り負担金ほか	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により観光客の誘致に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	港まつり来場者数	20,700人	20,700人	23,400人	21,000人	19,100人		21,000人	21,500人
2	かに祭り来場者数	15,800人	15,800人	20,700人	10,400人	15,500人		16,000人	17,000人
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			36,566		36,764		35,277		
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他				3,507		3,507		2,507
	一般財源				33,059		33,257		32,770
人員(人工)					0.26		0.26		0.26
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)					1,997		1,997		1,997
総事業費(=事業費+職員人件費)					38,563		38,761		37,274
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					1		1		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					2		3		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☒ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	観光客へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性・安全性について検討・実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られることから、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客の利便性や安全な衛生環境の提供(施設・設備の整備)、リピーターの確保(イベントの開催)など、観光客の誘致促進につながるものを本事業で継続して実施していることから
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 観光協会の現状体制を踏まえれば、事業全体の取り組みは不可能と思われるが、一部は可能であり、既に実施している。(根室半島周遊バス運行事業等)
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究していく必要がある。また、各観光イベントの内容においても、随時、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業費を工夫してコストを削減しており、また、市内の経済状況の先行きが不透明であり、寄附金についても顕著な落ち込みが見られ、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況であるが、引き続きアイデアを模索する。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業の基本施策に内容などについては、類似している事業があるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 事業の性格上、受益者負担は困難であり、可能性は低い。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	商工観光課(観光振興担当)			
事務事業名	観光事業振興経費	事業番号	10180	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
☒ 自治 ☐ 法定受託				

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客・根室市観光協会・さんま祭り協賛会ほか
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	観光PRの推進、イベント開催による観光客及び教育旅行の誘致推進 ・観光地設備等修繕、観光PR用務ほか ・さんま祭り負担金、教育旅行負担金、ニムオロ冬の祭典負担金ほか	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により、観光客の誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	観光イベント回数	6回	6回	6回	6回	6回		6回	6回
2	根室半島周遊バス運行事業補助	1,950千円	2,000千円	1,950千円	1,810千円	1,780千円		1,950千円	1,950千円
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算	
				23,290		22,046		20,846	
内訳	国道支出金			4,900		4,780		5,200	
	地方債								
	その他			5,468		5,648		15,646	
	一般財源			12,922		11,618		0	
人員(人工)				0.25		0.25		0.25	
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)				1,920		1,920		1,920	
総事業費(=事業費+職員人件費)				25,210		23,966		22,766	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				4,202		3,994			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				14		12			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☒ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	観光客へのホスピタリティ向上を目的とした受入体制の強化が必要であり、利便性・快適性・安全性について検討・実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	市や観光協会が中心となって各種イベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施することにより、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られることから、市民や観光関連事業者からのニーズは高く、今後も継続予定である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘致促進につながる事業であることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☒ 可能 ☐ 一部可能 ☐ 不可能 財源の確保が出来れば他団体等での実施も可能
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟に対応でき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業内容を工夫して、コストを削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況である。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業の基本施策の内容などについて、類似事業はあるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 事業の性格上、受益者負担は困難であり、可能性は低い。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)		商工観光課(観光振興担当)			
事務事業名		バードウォッチング観光推進事業		事業番号	12103
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客、ねむろバードランドフェスティバル実行委員会
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	野鳥観察環境の一層の整備・充実を図り、国内外の野鳥愛好家の誘客や新たな観光客の掘り起こしを推進するもの。 ・ねむろバードランドフェスティバル負担金、野鳥観察舎維持管理ほか	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により、観光客の誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	ねむろバードランドフェスティバル来場者数	600人	600人	900人	900人	1,100人		800人	1,000人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算	
				3,796		3,585		3,962	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他				3,796		3,585		3,962
	一般財源				0		0		0
人員(人工)					0.15		0.15		0.15
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)					1,152		1,152		1,152
総事業費(=事業費+職員人件費)					4,948		4,737		5,114
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					4		4		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☒ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	野鳥観光の振興を目的に受入体制の強化を図り、利便性や快適性についても考慮しており、こうした面を踏まえ、施設や設備の整備を今後も検討・実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	観光協会が中心となってイベントの開催、観光客誘致の促進、受入体制の強化に関する施策を実施し、交流人口の増加による地域経済の活性化を図り、市民や観光関連事業者との共同のもと事業を継続する予定である。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘致促進につながる事業であることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☒ 可能 ☐ 一部可能 ☐ 不可能 財源の確保ができれば他団体等での実施も可能
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 観光客誘致及び受入体制の整備については、日々変わる観光ニーズに柔軟にでき、且つ効率的・効果的な方法を今後も引き続き、調査・研究し、改善していく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 既に事業内容を工夫してコスト削減しており、これ以上のコスト削減は、イベントの執行そのものに影響が出かねない厳しい状況である。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業の基本施策の内容などについて、類似事業はあるが、事業活動内容及び意図が異なっているため、統合の可能性は低い。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 各種ツアーの参加者から参加料の負担をいただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)		商工観光課(観光振興担当)			
事務事業名		通年型体験観光事業者支援事業		事業番号	12570
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	観光客
	対象者の今後の予想	観光客の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	一季集中型観光から通年型滞在観光への転換を図るため、「新たな観光メニューの造成」や「既存メニューの強化・充実」に取り組む事業者を支援するもの。 ・支援対象は人件費で、補助率10/10以内、250万円/人を上限。(1事業者最大500万円、3年間限り) ・実施事業：落石ネイチャークルーズ、オランダ煎餅手焼き体験、酪農体験	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	当該事業の推進により年間を通じて観光客の増加が見込まれ、誘致促進・交流人口の拡大に期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	新規体験メニュー数	2件	2件	0件	0件	1件			
2	事業者支援補助件数	2件	2件	2件	2件	3件		3件	3件
3									
4									
事業費(＝下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			12,500		12,249		12,500		
内 訳	国道支出金								
	地方債								
	その他		12,500		12,249		12,500		
	一般財源		0		0		0		
人員(人工)			0.25		0.25		0.25		
職員人件費(＝人員(人工)× 7,679 千円)			1,920		1,920		1,920		
総事業費(＝事業費＋職員人件費)			14,420		14,169		14,420		
単位コスト実績値 1(＝総事業費÷成果実績値)			14,420		14,169				
単位コスト実績値 2(＝総事業費÷成果実績値)			4,807		4,723				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	事業者に対する補助上限及び補助期間を定め、将来的に補助事業者単独での事業確立に繋げることを目的とし制度改正した。
今後の動向・市民ニーズなど	国内外の観光客のニーズが体験型の観光へ移行しており、体験素材を求める声は多い。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘客促進つなげる事業であることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☒ 可能 ☐ 一部可能 ☐ 不可能 財源の確保ができれば他団体等での実施も可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現時点ではない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 上限を超えた部分については、負担していただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月